

有 珠 山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。

活発	第101回予知連(2005.6.21)											
やや活発	による評価以降の活動状況											
静穏	[Bar chart showing '静穏' status from 2005 to 2007]											
	2005				2006				2007年			

○ 概況

・ 噴煙活動（図 2～4）

西山西麓火口群 N-B 火口の噴煙活動は静穏な状態で推移しており、噴煙の高さはおおむね 100～200m 以下で推移しました。金比羅山火口群ではごく弱い噴気が時々観測され、特に変化はありませんでした。

16 日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。西山西麓火口群および山頂火口原の噴気や地熱域の状況にこれまでと比べて特段の変化はありませんでした。

・ 地震活動（図 5、表 1）

火山性地震は 1 日あたり 0～4 回と少ない状態で推移し、地震活動は低調な状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図 6、図 7）

GPS 連続観測では、火山活動の高まりを示すような変動は認められませんでした。

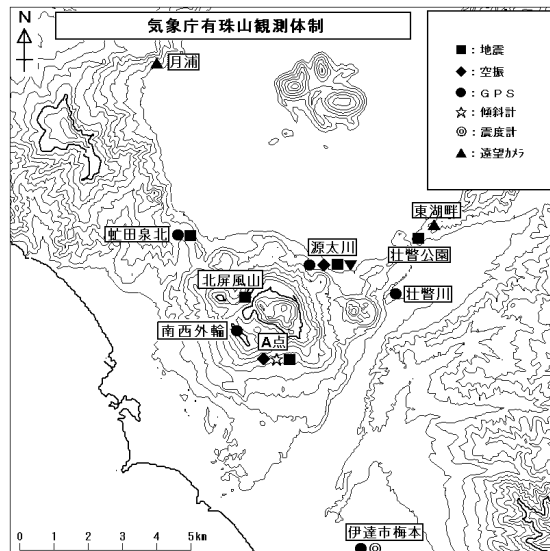


図 1 有珠山火山観測点配置図

※ 資料は気象庁のほか、北海道開発局のデータも使用しています。

※

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

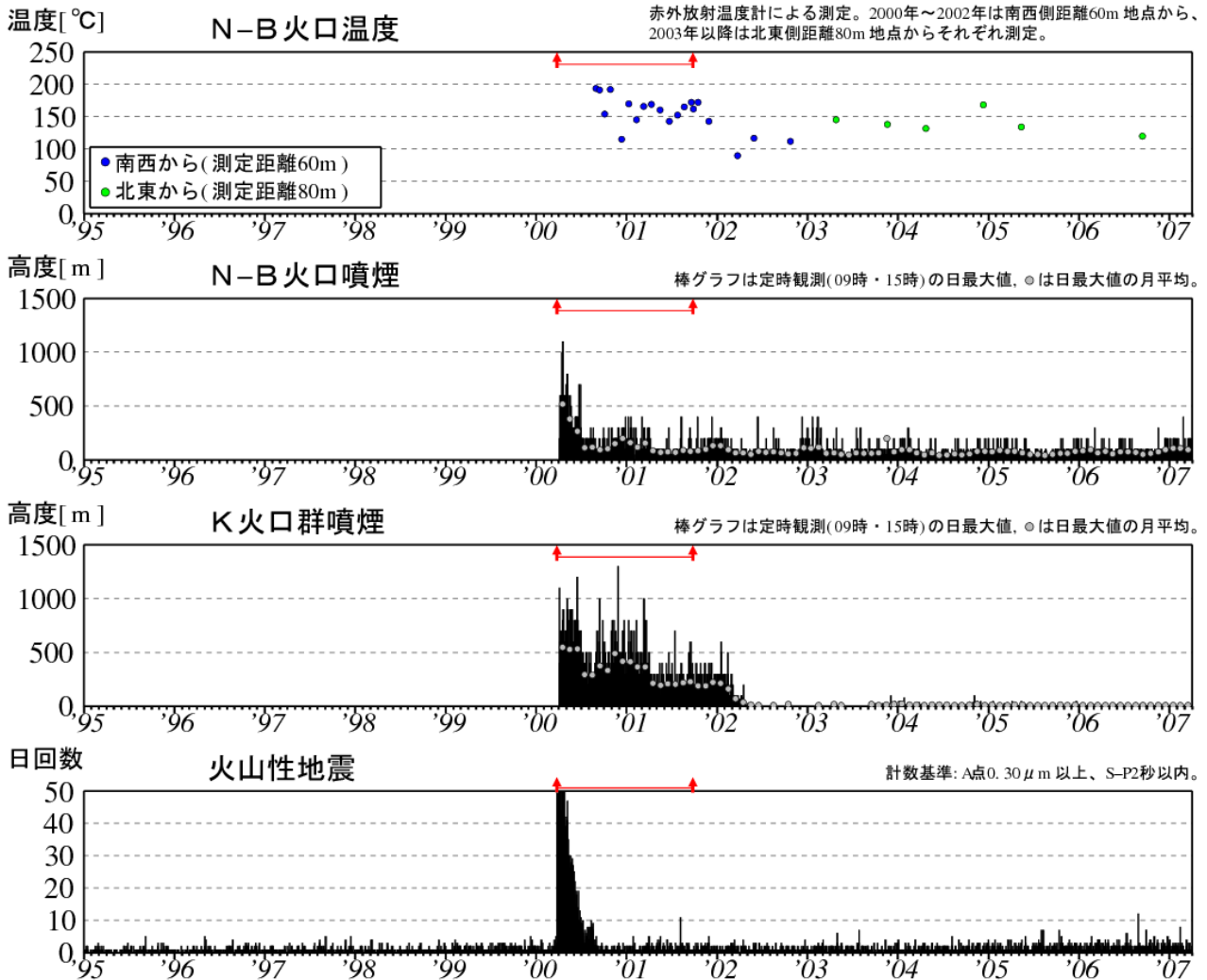


図 2 有珠山 最近の火山活動経過図（1995 年 1 月～2007 年 3 月）

↑印で挟まれた期間は 2000 年噴火活動期

・ 2000 年 9 月以降、地震回数は 1 日あたり概ね 5 回以下で推移しています。

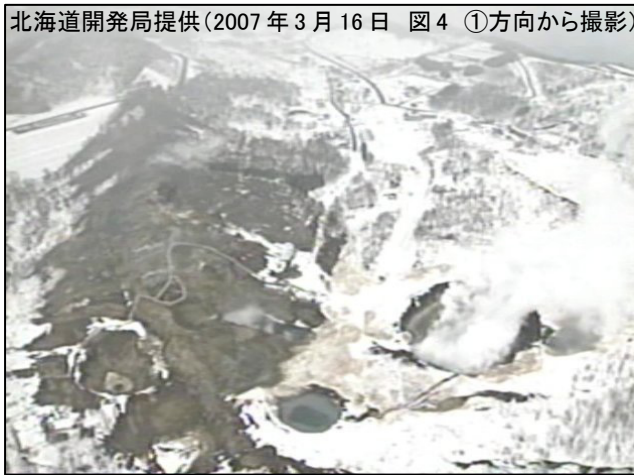


図3※ 有珠山 N-B 火口周辺の状況
（3月16日 南側上空から撮影）

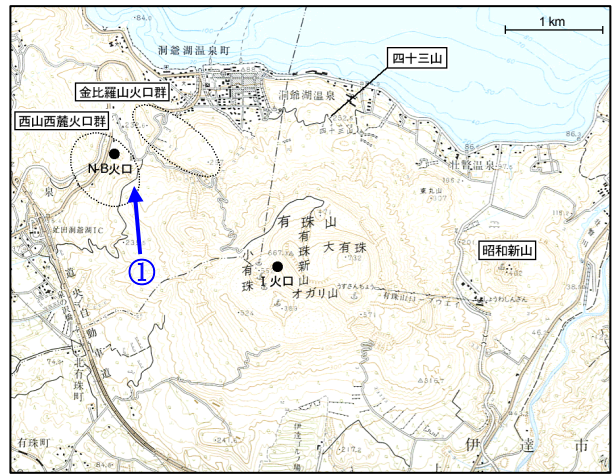


図4 有珠山 周辺図

表1 有珠山 地震・微動の月回数（A点：図5のUSUA）

2006～2007年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地震回数	35	29	32	35	34	40	34	33	37	40	36	24
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

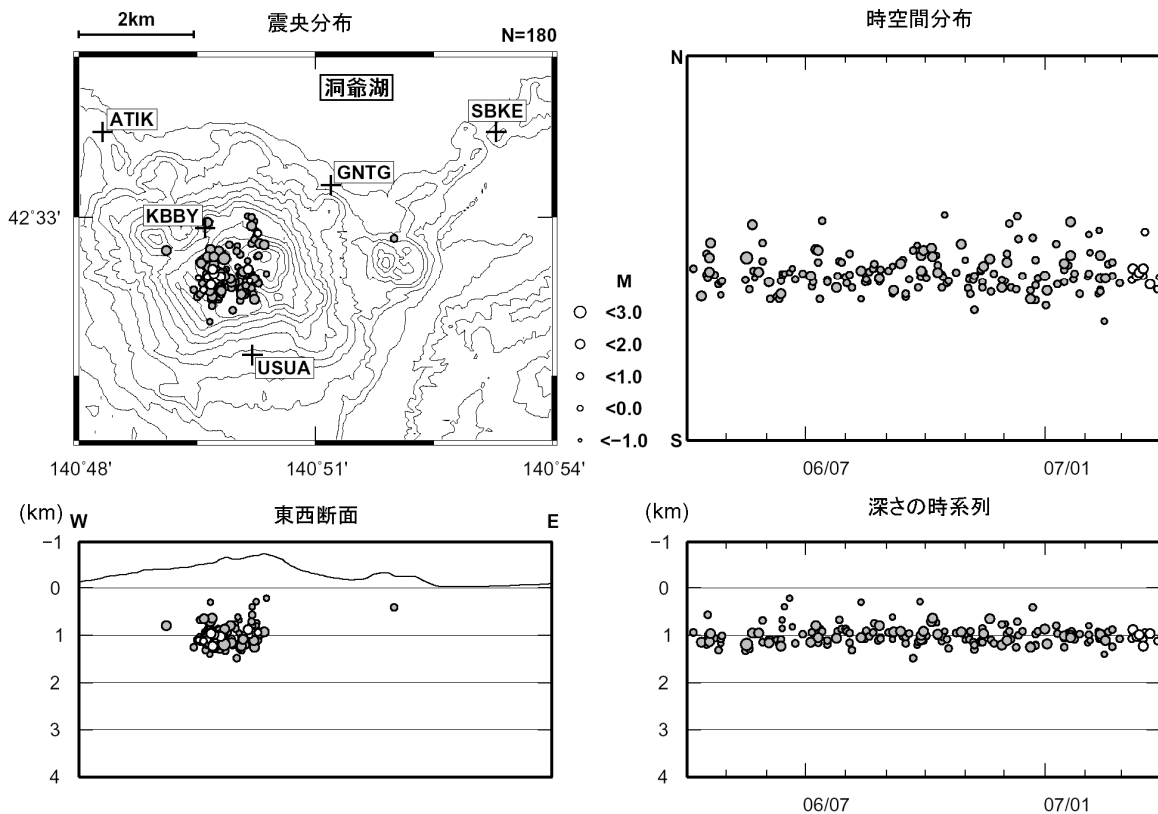


図5 有珠山の震源分布図（2006年4月1日～2007年3月31日、+は地震観測点）

○印は今期間（2007年3月）の震源

●印は前期間までの11ヶ月間（2006年4月～2007年2月）の震源

- ・前期間までの震源は山頂部直下の浅い所（山頂から深さ1.5km付近）に集中しています。
- ・今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

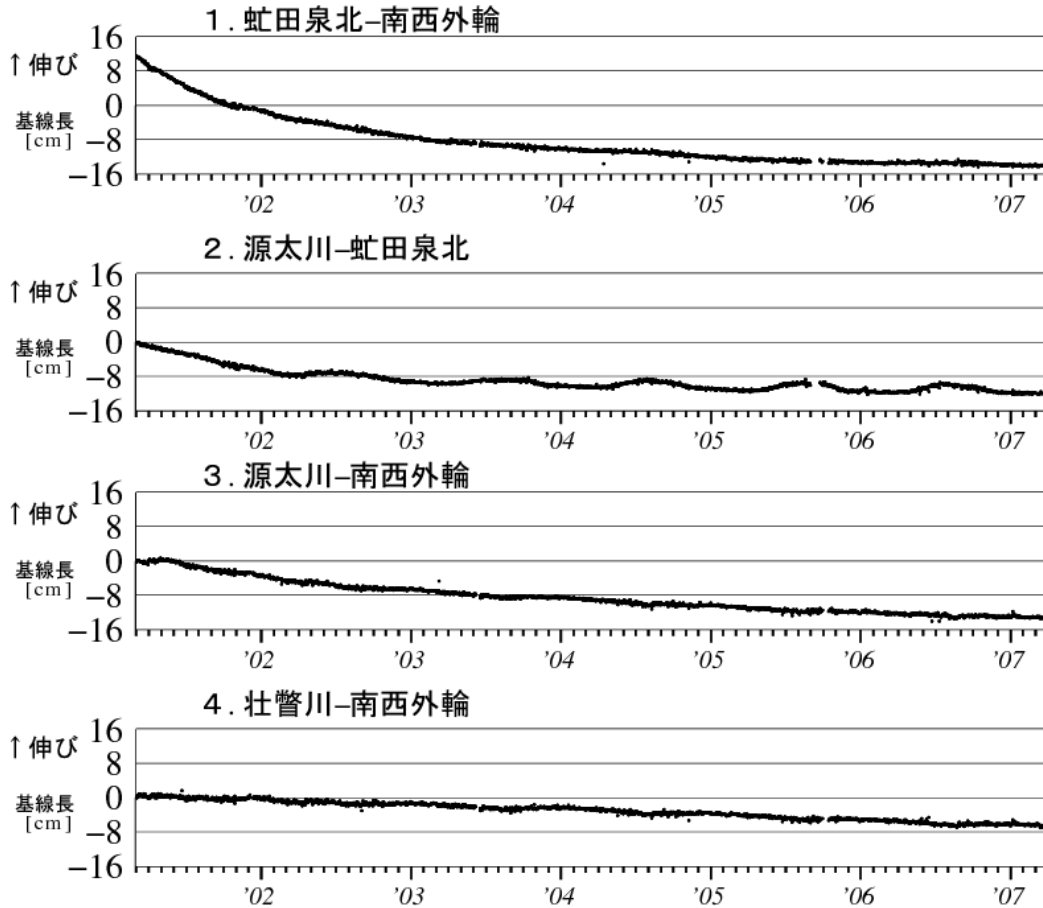


図6 有珠山 GPS 連続観測による基線長変化（2001年3月～2007年3月）
 グラフの空白部分は欠測

図6の1～4は、図7のGPS基線①～④に対応しています。

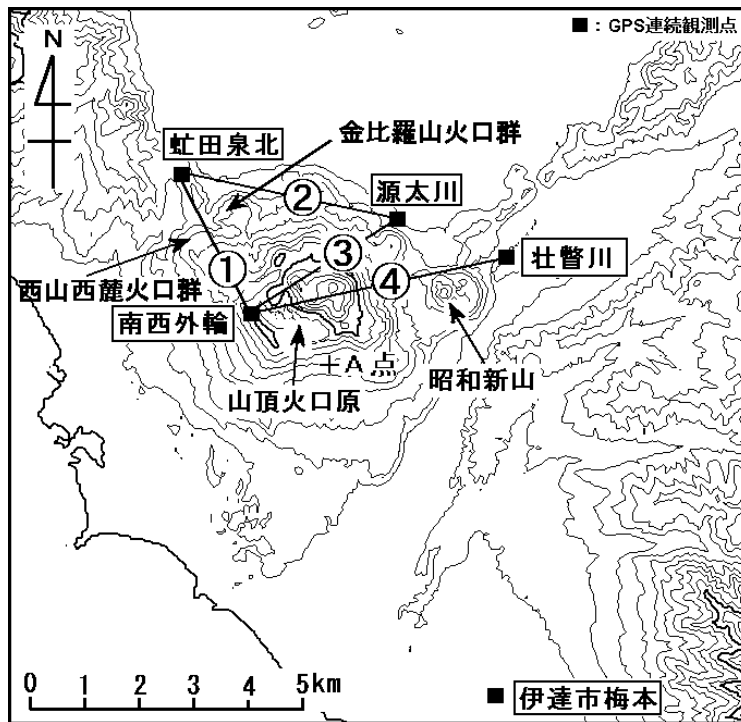


図7 有珠山 GPS 連続観測点配置図